



●市内新野地区



▲木ヶ谷横穴群A群周辺の現状



埋蔵文化財包蔵地 木ヶ谷横穴群

照会 社会教育課 ☎0548③1129

History

キラリを再発見

新野地区最南端の横穴群

木ヶ谷横穴群は、新野地区木ヶ谷の丘陵の斜面に位置しています。発見された時期は分かりませんが、昭和48年1月に作成された「静岡県埋蔵文化財包地調査カード」にすでに記入されていることから、かなり昔からその存在が判明していたと思われます。

丘陵の頂上付近に開口しているB群1基とそこから南側の下っている小丘陵の尾根近くのA群3基が確認されています。A群の3基については、天井部分が崩壊しているため、内部の構造などは不明です。開口しているB群の第1号墳は、長さ約2.8m、玄室幅約2.6m、天井高約1.7mで、1基単独と思われる、平面はつぼ形で、断面はドーム状です。発掘調査は、行われていないため、副葬品などは不明です。

Atomic

暮らしと原子力

緊急事態対策訓練の実施

地震や津波に起因した原子力災害が発生した場合の対応能力の把握と、その向上を目的に2月8日、浜岡原子力発電所で、保安規定に基づく緊急事態対策訓練が実施されました。

- 内閣府の津波断層モデルを用いた津波シミュレーションにより評価した発電所への影響と、当日工事が完了している津波対策設備の機能（海抜18mの防波壁による浸水量の抑制など）を想定して、それぞれの状況に応じた災害対応が機能するかを確認しました。
- 【主な訓練内容】**
- ①緊急時対策所の初動対応
 - ・ 動員状況の把握
 - ・ NTT電話、携帯電話が使用できない環境での通報連絡
 - ②避難誘導
 - ・ 原子炉建屋大物搬入口開放
 - ③応急復旧対策
 - ・ 災害対策用発電機による電源確保
 - ・ 可搬式動力ポンプによる冷却水確保
 - ④緊急時操作
 - ・ 災害対策用発電機を電源とした補給水ポンプおよび中央制御室空調設備の起動
 - ・ 格納容器ベントラインの作成
 - ⑤モニタリング
 - ・ 可搬型モニタリングポストを用いた代替測定
 - ⑥ロボット操作
 - ・ 発電所構内でのロボット走行などの操作
- ※浜岡原子力発電所の津波対策工事の進行状況は、「御前崎ケーブルテレビ122チャンネル」で放映しています。